

もりのにぎわい通信

2015年11月28日(土)定例活動報告

日時：2015年11月28日(土)10:00~15:00

場所：小山町 観音地

天候：晴 気温16~23℃ 湿度63% 風向 南西 風速7m

参加者：23人：子ども5人、大人18人（内土地改良区8人）

■活動

9:30 枯れた松の伐採と除草作業開始

10:30 クズの蔓切（ヤマザクラ）

11:00 休憩

作業再開

12:00 昼食

13:00 基地の廃材撤去と除草作業

14:30 後片付け

15:00 解散

■活動報告

車で活動地に向かう途中、林道沿いにある山茶花の花が見頃を過ぎ、散り落ちた花びらが一面ピンク色のジュータンのようで、季節は秋から冬へと移り行くのを感じました。

準備に手間取り、いつもより出遅れての到着。土地改良区のみなさんの今日の主な作業は、枯れた松の伐採と運搬、焼却。また、鎌で苗木に絡みついたクズの弦を切る作業です。緑の環のメンバーは、刈払機で除草作業でした。

親子参加の皆さんは、鎌や剪定はさみを使ってクズに巻き付かれた苗木の救出を行いました。特にゴルフ場側に植えたヤマザクラは、ここ2年ほど手つかずのまま放置されていたので、クズに巻き付かれ、ススキに覆われて斜めに倒れかかっていました。お昼までに、何とか一画のヤマザクラは救出できました。

また、ススキに産み付けたカマキリの卵をみんなで観察したり、カマキリの孵化を観察しやすい場所に移動などはさすが……。来年6月の孵化が楽しみです。

休憩を挟んでお昼の「豚キムチ鍋」の準備に取り掛かりました。5年生の女の子二人が、ウィナーやお豆腐を切ったり、調味料を入れたりするのを手伝ってくれてとても助かりました。12時を少し回ったころ出来上がりました。早速、5歳のアッチちゃんが、パパから食べさせてもらいましたが、「辛い！」の一言「何か飲みたい！」と言われて、卵を付けてあげればよかったですね。でも、他の子どもや大人にはとても好評でした。

今朝、バケツに薄氷まで張っていた観音地は冷え込みましたが、日中は、小春日和のいいお天気に

なりました。そこに豚キムチ鍋のおいしい匂いに誘われてか一匹のスズメバチが偵察にやってきました。ハエも集まってきました。美味しい物は、虫たちにも大歓迎だったようです。

スタミナ補給した午後は、かつて子どもたちが遊んだ基地の後片付けをしました。遊んだ子どもたちはといえば、今は立派な中学生になっています。4, 5年放置された今では、穴の周りに草が生い茂り、除草作業が危険になっていました。

お母さん方と一緒にお手伝いをしたのは、小学生3人通行止めの案内板や杭や板を片づけて穴を埋め戻す作業と一緒にやってくれました。お手伝いありがとうございました。

一方、今まで刈払機の戦力になって来なかった私も微力ながら除草作業に加わり、4人で草刈り作業を続けました。どうしても気になっていたのが、入口周辺の伸び放題の雑草です。ところが、刈り始めてみたものの根本を刈っても上にクズの弦が絡んでいると中々草が倒れてはくれず、とても苦戦しました。刈る向きを変えて行ったり来たりする場面もあり、斜面を含めて1時間でやっと50坪程度でしょうか。重労働でした。

今更ですが、苗木の周りを鎌で刈ってから刈払機を使う方が、効率もいいし苗木も切らずに済みます。次回から心がけたいものです。

ところで、先月、畑にみんなで蒔いたそら豆から芽が出て、しかも大きくなっていたのが喜びでした。来月そら豆の霜除けをしましょう。

今日の定例会にご参加下さいました皆さま、長時間の除草作業にも関わらずお疲れ様でした。楽しみながらとはいえ、手入れ作業は重労働で危険を伴うものです。今後とも安全に注意して森の活動にご協力ください。

記録：星野静枝

.....

■森もりあそび隊

森の成長～クズ退治苦戦～

数年前までは自分の背丈よりも低かった木が背を越えて大きくなり、クズのつるを取るのがだんだん難しくなってきました。今年は定例活動の中で長い時間クズの除去作業に時間をかけられなかったり、成長もすさまじく、何の木？クズの木？というくらいクズに囲まれてる木々がたくさんありました。

里山とは人が手入れしてできるものと本で読んだことがあります。小山の森もこれからは長く人が関われる森として維持するためには、枯れていたり成長の妨げになるようなじゃまな枝を切ったり、からみつけたクズを取り払うことが不可欠です。エンドレスではありますが・・・。

剪定ばさみでからみつけたクズのつるを外した時、窮屈そうだった木が枝を広げる姿がなんとなく嬉しそうに見えるのは私だけではないのでは？

森のお焚きあげ

松の木の伐採した枝をトラックで運び、池の横にそれらを燃やす大きなたき火を作りました。刈払機で刈った草なども集められ、長い時間大きな炎が上がっていました。子ども達は普段見れないものだからか、燃えそうなものを持ってきては投げ入れて様子を見て楽しんでいました。

炎をみていると神聖な感じもあり、山積みされていた大きな枝が灰になり土のようになる姿は

自然の循環の神秘を感じました。そして神社でのお焚き上げには“火の神の力で天界へ還す”という
意味があり、お寺でのお焚き上げには“思いが込められたもの、魂が宿るとされているものに、これ
までの礼をつくし、浄化によって天界へ還す”という意味があるそうですが、それに近い気持ちにな
りました。灰は畑にまくと植物の栄養になるそうですよ。

今回ハンモックが出動しましたが、子ども達だけで取り付け、子ども達だけで片付けている様子を見
て子ども達の成長も感じました！

(記録 : 和田 みさ子)

.....

■ お知らせ ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、12月12日(土)(雨天時13日(日))除草作業、できたら松飾りをしたいと思います。
お昼に暖かい(??鍋)を予定しています。どうぞお楽しみに。



集合写真



2年分のススキを刈る



枯れたマツの切り出し





シノダケを燃やしているところ



枯れたマツを燃やす



豚キムチ鍋





埋め戻しのお手伝い



カマキリの卵を見つけたよ！



ノウサギの糞